

平成26年 5月19日
国土交通省
南三陸国道事務所

三陸沿岸道路（釜石山田道路）

「大槌第二トンネル掘削土の処理に関する検討委員会」の開催について

○南三陸国道事務所から大槌町の震災復興土地区画整理事業に提供した大槌第二トンネルの岩砕（トンネルズリ）から「ヒ素」が検出されたとの連絡を受け、当事務所においてトンネル切羽部で採取した岩砕の溶出試験を行ったところ、自然由来の「ヒ素」の存在を確認し現在、掘削工事を中止しているところです。

○南三陸国道事務所では、大槌第二トンネルの工事において、人の健康被害の防止に万全を期すとともに、適切な処理対策等を検討するため、学識経験者・専門家及び事業者で構成する「大槌第二トンネル掘削土の処理に関する検討委員会」を設置します。

○検討委員会の会議を次の日時で開催します。

開催日時 平成26年5月21日（水）13時00分～15時00分
開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 3階 桐の間
岩手県盛岡市盛岡駅前北通2-17
TEL：TEL：019-625-1211（代表）

※会議の傍聴等について

- ・本委員会の傍聴・撮影は、議題が審議される前段階（頭取り）までが可能です。
- ・会議終了後に会見を予定しています。

【発表記者會】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 南三陸国道事務所

〒026-0301 釜石市鶴住居町第7地割13-7（代表）電話：0193-28-4731

副 所 長 やまぐち みつる
山 口 満（内線204）

南三陸国道事務所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>

大槌第二トンネル掘削土の処理に関する検討委員会 設立趣意書

釜石山田道路は、釜石市と下閉伊郡山田町を結ぶ延長2.3kmの自動車専用道路である。

東日本大震災からの早期復興リーディングプロジェクトとなる復興道路に位置づけられ、一日も早い完成を目指している道路である。

大槌町の震災復興区画整理事業に提供した、釜石山田道路（仮称）大槌第二トンネル（L=2,043m）の岩砕から砒素が検出されたとの連絡を受け、トンネル切羽部の岩砕で溶出試験を行ったところ、砒素の含有を確認した。

このため、（仮称）大槌第二トンネルでは、現在工事を一時中止し、新たなトンネル掘削ズリの発生をストップしている状況であり、工事再開に向けた対応策について早急に検討する必要がある。

以上を踏まえ、（仮称）大槌第二トンネルにおいて、トンネル掘削土を利用する際の掘削ズリの調査方法及び処理・対策における問題点等の抽出、対策工法の検討に対する助言・指導を頂くことを目的として、学識経験者・専門家等からなる「大槌第二トンネル掘削土の処理に関する検討委員会」を設立するものである。

平成26年5月

国土交通省 東北地方整備局
南三陸国道事務所

大槌第二トンネル掘削土の処理に関する検討委員会

委員会名簿

(敬称略・順不同)

(委員長)

なかざわ ひろし

中澤 廣 岩手大学大学院 工学研究科 教授

(委員)

いのうえ ちひろ

井上 千弘 東北大学大学院 環境科学研究科 教授

かざま もとき

風間 基樹 東北大学大学院 工学研究科 教授

あなん しゅうじ

阿南 修司 独立行政法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ
特命事項担当 上席研究員

(行政委員)

さとう かずのり

佐藤 和徳 国土交通省 東北地方整備局 南三陸国道事務所長

(事務局)

国土交通省東北地方整備局 南三陸国道事務所